

# 5月の野菜の見通し

令和2年4月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,253	平年並 み	9,676	80	100%	91	0	0.0%	千葉県、茨城県産ともに前進傾向。出荷量は5月上旬までは充分だが、中旬ごろから減少に転じる気配。全体数量は前年および平年並み。単価は業務、加工需要の低迷から平年比1割安。
はくさい	6,570	やや少 ない	6,228	48	208%	80	0	0.0%	茨城県産は前進傾向で、出荷量は前年および平年をやや下回る見込み。数量が少なく加工需要もあって、高値基調が続いている。後続産地のスタートで下旬には相場反落の気配があるが、単価は前年および平年を大幅に上回る。
キャベツ	17,175	平年並 み	18,020	96	99%	99	0	0.0%	千葉県、愛知県、茨城県産の出荷は概ね順調。神奈川県産は前進傾向で、5月に入ると減少に転じ、千葉県産はピークに向かい増量の見込み。4月は量販店の売れ行きが好調だが、5月はGWの荷動き次第で動向が変わってくる。単価は前年および平年と同水準。
ほうれんそ う	1,481	平年並 み	1,449	370	108%	438	0	0.0%	茨城県産は作付け増加。群馬県産とともに生育は順調で、出荷は前年および平年並みの見込み。ただし、外国人実習生の人員減の状況によっては、出荷量が減少することも考えられる。単価は前年をやや上回るものの平年より1割程度安い。
ねぎ	3,729	平年並 み	3,624	370	97%	431	4	0.1%	茨城県、千葉県産は生育順調で、肥大も良好。全体数量は平年をやや上回り、多かった前年並みから微増の見込み。4月末以降は初夏ねぎの増加で単価は押し上げられる形に。単価は前年並みだが平年比では1割以上安い。

# 5月の野菜の見通し

令和2年4月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	8,460	平年並 み	8,930	215	116%	238	62	0.7%	群馬県、埼玉県産中心に関東産が増 加、年間で最も数量が多い時期とな る。全体数量は、やや少なかった前 年並みの見込み。4月後半から相場 の軟化が続き、下旬は加温物の出荷 量が落ち着くことで単価が上向いて くる見込み。単価は前年を1割上回 り、平年比でも若干高い。
トマト	10,019	平年並 み	10,135	246	110%	290	10	0.1%	熊本県産は順調な出荷が5月も続 く。愛知県産も生育は順調。栃木県 産は作柄不良により数量は平年を下 回る。 全体数量は前年および平年をやや下 回る見込みだが、荷動きは鈍い状況 が続くと見られる。 例年5月前半は数量が増加する時期 で、相場は軟調に推移する見込み。 単価は前年を1割程度上回るもの の、平年をわずかに下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)